



Kumamoto City

News Release

水辺の動植物園 
熊本市動植物園

令和 8 年 (2026 年) 1 月 20 日

令和 7 年度第 2 回熊本市動植物園マスタープラン推進会議の開催について

動植物園では、環境保全・生物多様性の維持・環境教育等の課題解決に向け、企業・研究者・行政・地域団体と連携した「トランジションデザインワークショップ」を開催します。

本ワークショップでは、自然資本との関わり方をテーマに 5 つの分科会に分かれ、将来を見据えた未来像づくりと具体的なアクション検討を行います。40 名程度が参加し、マスタープラン推進会議（第 2 回）も兼ねて実施します。

1 開催概要

日時 令和 8 年（2026 年）1 月 26 日（月）午前 9 時半から午後 5 時（予定）

場所 熊本市動植物園みどりの相談所 2 階会議室

出席者 企業、研究者、行政、地域団体、マスタープラン推進委員（約 40 名）
（参加企業・団体等は別紙参照）

主催 熊本市動植物園、マスタープラン推進会議、東海大学農学部

共催 東京科学大学（大橋研究室）、株式会社みらいリレーションズ

協力 株式会社 grubio

2 開催趣旨

近年、環境変化や生物多様性の危機が深刻化する中、動植物園は単なるレクリエーション施設にとどまらず、環境保全・教育・文化交流・地域づくりを担う場として進化することが求められています。本ワークショップでは、熊本の自然を未来へ継承するための新たな仕組みを、産学官民共同で検討します。

（詳細は別紙「実施要領」参照）

3 取材にあたっての留意点

- ・当園敷地内の駐車場をご利用ください。
- ・会議開始前までに会場にて受付を行ってください。
- ・入園の際は入場ゲートにて門のスタッフに取材の旨をお伝えいただき、ご入場ください。

【問い合わせ先】

熊本市動植物園

園 長 松本 ^{あつし} 充史

担 当 田中 慎太郎

電話 096-368-4416

「動植物園から始まる、持続可能な地域づくり ～自然と人が共に豊かになるしくみを考える～」

トランジションデザインワークショップ実施要領

1. 目的

熊本市動植物園では、環境保全、生物多様性の維持、種の保存、環境教育、地域経済との調和など、直面する課題に対応するため、企業・研究者・行政・地域団体と連携し、未来に向けた新しい価値を創造するワークショップを開催します。

2. 開催趣旨

熊本市動植物園は「自然への共感を育み、人と自然が共生する社会づくり」を理念としています。近年、環境変化や生物多様性の危機が深刻化する中、動植物園は単なるレクリエーション施設にとどまらず、環境保全・教育・文化交流・地域づくりを担う場として進化することが求められています。

本ワークショップでは、企業・研究者・行政・地域団体・市民が一体となり、熊本の自然を守り育てるための新しい仕組みを共に考えます。

3. ワークショップテーマ

本ワークショップでは「自然資本との新たな関わり方」を主題に以下のテーマに分かれ、未来像の共創を目指します。

1. 環境保全に向けた循環型エコノミーへの転換
2. 先端技術で切り拓く動植物の生態系保全・共生への応用
3. 動植物園における学びを軸とした子育て支援社会の創出
4. 自然 × 文化 × 体験が融合した新たな価値の創出
5. 自然資本との共生や再生を目指すグローバルな価値創造(エコツーリズムなど)

4. 開催概要

- 日時:2026年1月26日(月)9:30~17:00
- 場所:熊本市動植物園 緑の相談所 2F 会議室
- プログラム:
 - 9:00-9:30 受付
 - 9:30-10:00 導入(挨拶、WSの目的・ゴール、松本園長より課題共有、WSの進め方)
 - 10:00-10:30 アイスブレイク・チームごとに自己紹介
 - 10:30-11:20 ワーク①各テーマにおける課題・機会の共有
 - 11:20-12:00 ワーク②2040年の社会・変化を想像する
 - 12:00-12:30 ワーク③2040年におけるありたい未来を想像する
 - 12:30-13:30 お昼休憩

13:30-15:00 ワーク④ありたい未来を具現化する、その際のボトルネックを分析する

15:00-16:00 ワーク⑤ 変革の理論をかく(2025,2035,2040 年のアクションプランを考える)

16:00-17:00 発表

5. 参加者

動植物園、企業、研究者、行政、地域団体など(約 40 名)

6. 主催・共催・協力

主催:熊本市動植物園、熊本市動植物園マスタープラン推進会議、東海大学農学部

共催:東京科学大学 環境・社会理工学院(大橋研究室)、株式会社みらいリレーションズ

開催協力:株式会社 grubio

経済産業省「令和 7 年度 基盤的共同研究開発に関するオープン&クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業」採択

(別紙)ワークショップ参加企業・団体等

- イオン 株式会社
- 株式会社 UPHASH
- 株式会社 大建設
- 株式会社 地域環境計画(東京本社、九州支社)
- 株式会社 ハンドレッド
- 株式会社 ロジカ
- 株式会社 ペコ IPM パイロット
- 大成建設 株式会社
クリーンエネルギー・環境事業推進本部
- カルビー 株式会社 サステナビリティ推進部
- 熊本トヨタ ホールディングス
- MS&AD ホールディングス
サステナビリティ推進部 推進チーム
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン 株式会社
サステナビリティリレーション部
- 株式会社 肥後銀行
経営企画部 サステナビリティ推進室
地域振興部
- 白鷺電気工業 株式会社
- 株式会社 MOLTON
- 九州産業交通ホールディングス 株式会社
- 東海大学
- 崇城大学 工学部 機械工学科
- 桜美林大学
- 国立大学法人 熊本大学
- 東京藝術大学
- 熊本県立東稜高等学校
- 阿蘇のあか牛・草原牛プロジェクト
- 公益財団法人 再春館「一本の木」財団
- 熊本県シェアリングネイチャー協会
- 熊本県森林組合連合会
- 熊本野生生物研究会
- 熊本市現代美術館
- 一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会
- 肥後ちゃぼ保存会
- 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
- 環境省 九州地方環境事務所